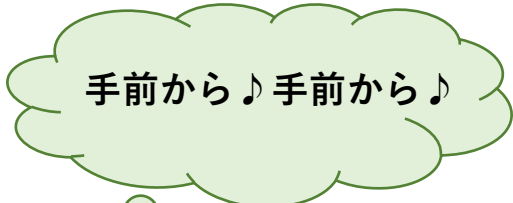


# 2022年1月の環境活動報告

昨今、食品ロスが話題になっており、  
 それらを可燃ごみとして焼却した時に排出する二酸化炭素の量が全世界で36億トンです。  
 日本では、年間で648万トン以上の食品ロスが起きており、  
 このような食品ロスを削減し、二酸化炭素の排出を削減する取り組みで、  
 農林水産省が、棚の手前にある商品を選ぶ「**てまえどり**」を呼びかけています。



私も、手前から取ることはすごく意識しています。  
 直ぐに食べるならなおさら手前から取ることが多くなりました。

小さな取り組みかもしれませんが、みんなが意識してやるというのがとても大事だと感じます。

※余談ですが、恵方巻の食品ロスについての記事があったので載せます。  
 年々改善はされていますが、それでも多いのが現状です。

2022年 大手コンビニ・スーパー（85店舗）で恵方巻の廃棄が、1508本もあったそうです。  
 そこで、日本全国の廃棄量を予測してみました。  
 コンビニ店舗数は55,950店、スーパーマーケット店舗数は22,762店、合計78,712店。  
 仮に全国で調査対象店舗と同様の売れ残りが発生したと仮定すると、  
 その本数は139万6,443本にもなります。  
 139万6,443本を廃棄するのに排出する二酸化炭素は**737トン**にもなります。

## 2022年1月環境活動実績

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電大臣	昨年実績より-5%	1,523 kwh/月	1,778 kwh	85.7%	未達成	
節水大臣	昨年実績より-5%	4.400 m <sup>3</sup> /月	3.470 m <sup>3</sup>	126.8%	達成	
ごみ処理大臣	可燃ごみ削減	16.20 Kg/月	12.10 Kg	133.9%	達成	
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進	95 %/月	100.0 %	105.3%	達成	
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	3 件/月	2 件	66.7%	未達成	